

第16回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：令和8年2月3日（火）13：30～

場所：岡山市役所本庁舎7階 大会議室

1. 議事

- (1) 支線バスの運行計画について
- (2) 利用促進策の実施方針について
- (3) 岡山市路面電車ネットワーク計画の推進について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) その他
 - ・宇野自動車（株）による新路線の申請について

2. 委員からの主な意見

(1) 支線バスの運行計画について

神田教授 (事前コメント)	<ul style="list-style-type: none">• パブリックコメントの意見を踏まえて、取り入れられる改善策はスピーディーかつ柔軟に反映ができるような体制を構築し、市民の方々の移動の利便性の向上に取り組んでもらいたい。• 移動が活発化することで岡山市全体の活性化に寄与するということを、共通の認識として引き続き進めていくことをお願いしたい。
------------------	---

(2) 利用促進策の実施方針について

神田教授 (事前コメント)	<ul style="list-style-type: none">• 移動のパイを増やす発想で、公共交通を利用する文化をつくること、また、外出を諦めていた人や、公共交通を知らなかった、考えなかった人の需要を創出することにもしっかりと意識を向けることが重要。• 公共交通の利用を控えている若者に何かリーチができないか。若者に優しい都市のイメージを訴求することで、シナジー効果が期待できる。
岡山 電気軌道	<ul style="list-style-type: none">• 乗りやすくするというと同時に、お年寄りに対して乗る目的を作って、博物館や美術館、買い物、病院などで、昼間の空いている時間に積極的に利用してもらいたい。 ⇒（岡山市）来年度、高齢者向けのバス教室を初めて行う予定のため、内容を一緒に議論していきたい。
阿部会長	<ul style="list-style-type: none">• バスとJRを乗り換える場合には、ハレカハーフだけでは利用できない。ICカード1枚で利用できるようにならないか。 ⇒（岡山市）決済環境の統一でICカード1枚で利用できるように考えているが、どのように対応するかこれから議論していきたい。また、ハレカハーフの制度自体は継続する。• バスを使うと車を使わなくて済むとずっと強調してもよいのではないか。バスの方が虐げられているようなイメージがある。

(3) 岡山市路面電車ネットワーク計画の推進について

神田教授 (事前コメント)	<ul style="list-style-type: none">先方事例である富山市・札幌市の環状化を見ても、路面電車の開業が都市に与えるインパクトは大きい。都市づくりを含めた今後の議論を期待したい。
------------------	--

(4) 今後のスケジュールについて

両備ホールディングス	<ul style="list-style-type: none">ももちやりのリニューアルは地域の移動に関する大きな話だと思うが、協議会で議論しているバス・路面電車と連動しながら、都心を中心とした市民の皆様への回遊性・利便性を上げていくことが必要だと思う。 ⇒ (岡山市) ももちやりと公共交通との連携については、パブリックコメントでもご意見をいただいているところ。運営していただくドコモバイクシェア社からも、公共交通との連携を考えていきたいとご提案いただいている。具体的な内容については一緒に検討を進めていきたい。
阿部会長	<ul style="list-style-type: none">自転車については、以前から若い人のマナーが悪いと問題になっている。私が住んでいる地域でも危険な運転をしている人が多い。バスと競合もしていると思うので、バランスを取りながら議論を進めていただきたい。 ⇒ (岡山市) 自転車活用推進計画に基づき通行空間の整備やマナーの啓発を行っている。バスと競合するという考えではなくて、バス停の近くに駐輪場を設置し、バス停までは自転車で移動し、バスに乗ってもらうという取り組みも行っている。

(5) その他 (・宇野自動車(株)による新路線の申請について)

神田教授 (事前コメント)	<ul style="list-style-type: none">都市規模の大きい岡山市では、個別の会社・路線で対応するよりも、事業者の枠を超えてバスネットワークを活かして対応した方が事業者にとっても選択の柔軟性があり、リスクも低いと感じる。電車・バスで通うことになる児童・生徒の保護者として、低学年の時は分かりやすい路面電車で、学年が上がり、ある程度高学年になると、柔軟に動けるバス利用が主体となるなど、使い方の変化もユーザー側にはある。こうしたケースが市内の他の場所でも潜在的にあると考えられる。これを機に運賃体系・サービス・役割分担の考え方、限られたリソースの配分を検討すべきで、その方が、利用者・事業者双方の利益が高まるのではないかと。
------------------	---

宇野自動車	<ul style="list-style-type: none">• 新規路線について、利便増進実施計画の障害はしていない。重複区間における路線の集約についても、附属小へのバスとの重複のみで、運行利用の用途は異なる。仮にバス同士であっても、起終点のみの重複で、実施計画には影響を与えていない。仮にこういうことをされると、路線の利便性の開発が実際には不可能になる。どこの路線にも触れないでというのはあり得ないと思う。• 公衆の利便が著しく阻害されるということについては、2025年夏頃の時点で、附属校便を全廃する計画があったようで、それを回避するなら、学校が費用負担をするようにという話があったらしい。• 岡電バスは、学校側からの再三の要請にもかかわらず、一切増便を拒否しており、宇野バスの申請が出たことによって、態度を一転している。この利用者を省みない行動が今回の発端であって、増便したことで問題解決をしているとは思っていない。• 岡電の意見書によると、損失額は300万円ということだが、それはあくまでも全てのお客様が移行してしまった場合のことであって、そのようなことはありえない。仮にそのようなことがあった場合でも、そうならないように策を講じるのが企業努力であるだろう。• あえてこういう言い方をしますが、たかが300万円ほどの損失で計画に影響が出るならば、MOMOやチャギントンを売ってでも、赤字から抜け出す努力をすべき。それをしないのは、いかながなものかという感じがする。• 前回の協議会で、小嶋社長が、今回を契機に利用されるお客様にとってメリットとなるサービスを真剣に考えると言っておられたが、ホームページでもバス停でも、附属校の時間表や案内が一切されていない状況というのは、基本的に利用される状態にはないと思う。• 以上のことを踏まえて、岡山市の意見書は、失当であるという言葉が適切かと思う。
-------	--

下津井電鉄
(1/2)

- 私自身、バス協会長という立場であり、バス協会長の立場では、岡山市に協力をすべき立場。下津井電鉄の会長という立場からは、賛成も反対もしないという立場。
- 岡大附属幼稚園のPTA会長の現職であり、利用者の代表の一人にもなっていることから、この立場で岡大附属小のPTAに呼ばれた。
- 昨年8月頃に、岡大附属は、岡電バスから路線廃止の通告を受けた。廃止を止めるなら、1か月あたり30万円を補助していただきたいと申し出を受けたようだ。
- 月々30万円を払うことはできないので、なんとかできないかと、保護者から私に相談があった。岡大附属の路線では、子ども料金での利用が多いため、大人料金を取ることができず、赤字が埋めづらい状態であるため、企業として判断するならば、止める術はありませんと、バス事業者の実態を説明した。
- 昨年10月頃に、宇野バスが国へ路線新設の申請を出したことを知り、喜ばしいことだと思った。
- 国交省で交通空白を埋めましょうという指針が出されている。地域の足として2,000地区、観光の足として460地区の交通空白地域があるが、これを令和7年～9年までの3年間で減らすことを目標としている。
- 法定協議会の運営では、「交通事業者が路線等の休廃止に関わること」「代替交通の確保に関する協議を行うこと」が求められるため、宇野バスが路線新設を出されたのは自然な流れだと感じる。
- 廃線について、岡大附属に岡電バスのどなたが来られてどのような話をされたのか、全部記録で残っている。これを見る限り、路線廃止の話、またはそれに近い話をされたのは間違いないと思う。これには誤解があるので、後で話をします。
- 下電バスは岡山空港から倉敷までリムジンを運行していたが、利用されるお客様が少なかったため、廃止することを検討していた。一方で、インバウンドの影響で岡山便の利用者は多かったこともあり、中鉄バスからの申し出により、この路線を運行していただけることとなった。下電バスからすると、中鉄バスには感謝しなかった。これは共同経営の良い形だと思っている。
- 本来であれば、本件は、岡電バスが赤字で撤退したい路線を宇野バスに走ってもらえるので、岡電バスは宇野バスへ感謝するだろうと感じていた。しかし、そうならなかったので困惑しました。
- 誤解の部分だが、宇野さんが言っていた「積み残しがある」というのは、コロナ禍の時のことです。
- 岡大附属では1,300名の生徒のうち、10%が公共交通を利用しているが、コロナ禍での減便の結果、積み残しが発生し、遅刻する生徒が多くなり、始業時間をずらさざるを得なくなった。そこに来て廃止の話をされたため、学校のPTA会長としては岡電バスに良い印象を持っていなかった。
- しかし、彼らは廃止する路線を勘違いしていた。岡山市役所周辺の生徒が岡大附属へ通うのに臨時バスを岡電バスが運行しているが、廃止というのは、恐らくこの路線のことで、このことを誤解していたのだと思う。スクールバスを運

行するのであれば、30万の負担はむしろ安いぐらいだと思う。岡電さん、ありがとうございますという内容です。

- 岡大附属では幼稚園から中学卒業まで12年間あるが、運賃は安い方が良くと思う。都度利用では宇野バスが料金が安い、定期では岡電バスの方が割引率が高く、安い料金で利用できる。また、岡電バスは学期定期等、利用しやすい運賃設定としてくれている。
- 決して岡電バスは、岡大附属をないがしろにしてきたわけではなく、寄り添いながら丁寧に施策を行ってきたということを保護者に説明した。
- 宇野バスの路線新設の申請があつてから、岡電バスは対応が180度変わり、非常に対応が良くなった。保護者からも、運転手の対応も良くなったという話を聞いた。
- 現状、岡電バスの方が信頼度が高くなっている。この状態が続くのであれば、学校も保護者も岡電バスに引き続き運行してもらいたいという意向を持っている。
- ただし、選択肢は多い方が良いので、可能であれば宇野バスにも運行してもらえないかと、軽いお願いはしたい。
- 以前は、宇野バスに路線を運行してもらいたいとのことで署名活動をしようとしていたが、岡電バスの印象が良くなったため、その計画は無くなった。ただし、できることなら宇野バスにも運行してもらいたいとは思っている。これが保護者と学校の意向。
- 1社独占になった際に、対応が悪くなってしまわないのかとの懸念はまだ残っている。
- PTAで、バス会社は本当に赤字なのか、本当に困っているのかという話がでた。これは宇野バスの申請だけでなく、バス事業者の信用にも関わる問題だと思う。
- 岡電バスの誤解は解けたが、ハレノワ線の計画によって、その信頼がまた崩れかけている。
- ハレノワ線の計画には便数が一切書いてないので、現有車両数で運行すると東山へ行く車両が減ることになる。学校としてはほとんどない影響が出てくる。これをどうするのか聞きたい。
- 車両を増やしたら解決すると思うかもしれないが、距離が延びてしまうと、電車の専用信号のサイクルが変わってしまうため、単純な話ではない。
- ハレノワを回るように軌道ができるが、軌道上では乗降ができないので、貸切バスやタクシーを利用できなくなってしまうという問題もある。
- 路面電車についての岡山市の資料は分かりやすいが、利用者の声が入っていない。利用者の声を拾いながら、うまくいくのかどうか、岡山市には検証を徹底的にしてもらいたい。

⇒ (岡山市) 清輝橋線と東山線の便数が減ることはありません。車両についても岡電の現有車両で運行していただくことで計画を作成している。ダイヤは検討中だが、ピーク時は1時間あたり3本以上の運行をしていただくことで合意したところ。

備北バス	<ul style="list-style-type: none"> • このような問題は、協議会の場で何年も前からあったが、お互いに話をすすめることができないのかとずっと思ってきた。 • これからは利用促進に力を入れたいので、事業者同士で議論した上で、この場へ話をもってきてもらいたい。
岡山 運輸支局	<ul style="list-style-type: none"> • 意見書の提出を受けた後、内容を考慮しながら審査することになる。審査では道路運送法や地域交通法、基本方針に基づいて判断する。提出された意見書が岡山市が中心となって地域の関係者と議論がしっかりとなされ、事業者の新規参入が利便増進実施計画に与える影響を、実証的かつ定量的に明らかになっているのかどうか、またその上で、新規参入により利便増進実施計画の維持が困難となるため、公衆の利便が著しく阻害されるのかどうか、という観点から審査をすることになる。
中国運輸局	<ul style="list-style-type: none"> • これから意見書を審査することになるが、実証性・定量性の点で必要十分な内容になっているか、議論がつくされているかを詳細に検討する必要があるため、意見書の再考のお願いも含めて様々な可能性があることをご承知おきいただきたい。
岡山 電気軌道	<ul style="list-style-type: none"> • 100年以上前から附属や東商、山陽学園の生徒の通学にご利用いただいている。この路線を廃止するといったことは一切ないので、訂正をしていただきたい。 • コロナ禍で経営が厳しかったため、学校で広告でもしてもらえないかとお願いをしたことはあるが、30万の負担をしないと廃止するといった話はしていない。 • 皆様のご意見をしっかりと聞きながら、バスの運行をしていくので、安心していただきたい。
岡山市	<ul style="list-style-type: none"> • できることなら今後は、事前に路線バス分科会等で皆さんと意見交換ができればと考えているが、今回の意見書としては、お示ししたもので提出させていただく。